



【ドラマ】歓声と静寂のフリースロー

～失敗を「最強の経験値」に変える魔法～

歓声と静寂……そして様々な思いが複雑に交差する体育館の空気の中、私はバスケットボールの6号球と静かな対話を試みていた。時折、このざらついた皮の感触を残して私の手を離れ、数秒後に放物線の果てに吸い込まれるであろう、あの白いネットを見つめながら――。

私がこの一球を沈めれば、2組は勝利をその手に引き寄せる。3組副担任にして男子バスケットボール部顧問、あのM川先生が土壇場で決めようとも、私がここで決めさえすれば得点は2組が上回るのだ。そして、その歓喜の瞬間は刻一刻と近づいている。私は決してバスケットボールが得意なわけではない。しかし、人生の「ここ一番」という土壇場において、私は無類の強さを発揮してきた(はずだ)。運命の女神は、きっと私に微笑んでくれる。

ふと、思考の隙間に一人の男が浮かぶ。ここ一発にめっぽう強い「強者(つわもの)」が、もう一人いた。そう、S伯先生である。彼はこれまでの人生で数々の死線……いや、修羅場と場数を踏み越えてきた猛者であり、こうした極限状態においては圧倒的な強さを誇る。なるほど、そんな彼が私より先に運命のシュートを放つわけだ。当然、結果は決まっている……と思いきや、まさかの「外れ」。意外であった。しかし、これで劇的なドラマの舞台は完璧に整ってしまった。

体育科・M上先生の静寂を切り裂くホイッスルが鳴り響く。「先生、頼みます！ 入れてください！」2組の生徒たちからの切実な声援が耳に届く。分かっている。大丈夫だ、あと数秒後に爆発させる歓喜の準備でもしておきなさい――そう心の中でつぶやきながら、私はゴールに向けて静かにボールを放った。

放たれたボールは、私の頭に描いた完璧な軌道の遙か下を通り、情けなくもリングの手前に衝突。そのままあざ笑うかのように、私の方へと転がり戻ってきた。……失敗である。こんなはずではなかった。時間を巻き戻せるなら今すぐ巻き戻したい。何より、ここまで汗を流して得点を積み上げてきた2組のみんなと、担任のM先生への申し訳なさで胸が押し潰されそうになる。一瞬(時間にしておよそ0.032秒ほど)、この世の全てから蒸発して消え去りたいと本気で思ってしまった。

いよいよ、大トリ・M川先生のフリースローである。私とて自分がヒーローになりたいという青く幼い野望はあるが、他人の失敗を願うほど心が落ちぶれてはいない。だが、そんな思考を巡らせる隙すら与えず、ホイッスルとほぼ同時に、何のためらいもなくM川先生が放ったボールは、息をのむほど美しい弧を描いてリングへと向かっていく。時が止まったかと思った次の瞬間――シュッ！ これほどまで完璧で美しいスウィッシュ(球がリングに触れずに通過するゴール)を、私は人生で観たことがない。ドッと爆発するような大歓声が体育館全体を揺らした。それは3組だけのものではない。勝利の壁を超え、その場にいた全員がその一球を称えていた。体育館が確かに一つになった瞬間であった。

……と、ここまでが昨日の体育大会の一場面であり、みなさんにとっては心底どうでもいい、私の脳内における葛藤の独白である。

落ち込む私に、2組の生徒がくれた「魔法の言葉」

大会後、2組の生徒たちは誰一人として私を責めるどころか、フリースローに挑んだこと自体に感謝してくれた。本当に温かく、ありがたい話である。しかし、当の私は完全に心が折れ、「また新たな黒歴史を作ってしまった……」と陰鬱な風をまとっていた。

給食準備中、未練がましく2組の女子生徒に話しかける。「さっきの失敗、まだ引きずってるんだよね……」いい大人がウジウジと「かまってちゃん」状態である。しかし、その生徒は単に私を慰めるだけでなく、思いも寄らない発想の転換をくれました。

「先生が入れなかったのは、最後にM川先生が決めて一番盛り上がるためだったんですよ！ あそこですって入らなかったからこそ、あそこまで学年が盛り上がったんです！」(両手を強く握りしめてガッツポーズ)

おお、なるほど……！ 確かに、私が決めず、M川先生が決めたからこそその一体感。その通りだと思った。

まさに「ドラマ」である。

さて、落ち込んだ時、こうした前向きな言葉をかけてくれる友人の存在は、なんとありがたいことだろう。そして、もし周りに誰もいなかったとしても、自分自身に対してこのような前向きな意味づけ（発想の転換）ができる心をもてたなら、私たちは何度だって立ち上がることができる。

前向きな人とは、単に「小さな失敗を気にしない鈍感な人」のことではない。「うまくいかなかった出来事を『経験値』として吸収し、自分のライフポイント（人間の深み）を上げられる人」のことなのだ。

ちなみに職員室では、S 伯先生がなぜシュートを外したのか、その熱い物理的要因を語り続けていた。悔しかったのは私だけではなかったらしい。君たちが真剣に、そして全力で楽しむ姿を見て、先生たちも大人げなく本気で熱くなってしまったのだ。大人をここまで夢中にさせる、それこそが今の福井野 3 年生の持つ素晴らしいパワー（見学旅行からの確かな成長）である。

失敗の数だけ、あなたは「打たれ強く」なれる

プレッシャーの中で見事なスイッチを決めた M 川先生。ここ一発で結果を出せる人には「単に運が良い人」と「普段から想像を絶する準備をしている人」の 2 通りがいる。M 川先生は間違いなく後者だ。あの土壇場でシュートを決める裏には、毎日何百本ものフリースローを放ち、公式戦で何十本ものシュートを外し、何百回もの敗北と悔しさを噛み締めてきた「過去の失敗」が存在する。失敗の積み重ねこそが、あの土壇場での強さを支えているのだ。

バスケットボールの神様、マイケル・ジョーダンがこう語っている。

「私は 9,000 本以上のシュートを外し、300 試合近くに負けた。26 回、勝敗を決めるシュートを任されて外した。人生で何度も何度も失敗した。だから私は成功した」

世界最高峰の選手ですら、無数の「失敗」という黒歴史の上に立っている。もし彼が途中で失敗を恐れてボールを投げるのをやめていたら、あの偉業は絶対に達成されなかった。

これからの進路開拓、そして受験勉強において、模試の結果に打ちのめされたり、思うようにいかず心が折れそうになる瞬間が必ずやってくる。しかし、そこで立ち止まる必要はない。失敗したその瞬間こそ、あなたの中に「揺るがない経験値」が蓄積され、どんな困難にも負けずに「打たれ強い受験生」へと進化している証拠なのだから。

人生で何度も失敗した。だから、私は成功する。

結論として、とても順当な結果だった。ワンチャン狙いはうまくいかず、積み重ねてきた人が成功した。自信に満ちた M 川先生の背中、受験当日の君たちであってほしい。そのための積み重ねをしているのが今だ。そしてもう一つ、こんな素晴らしい会を企画・運営してくださった体育科の先生に感謝の気持ちを忘れずに…。

失敗は揺るがない経験値ー ー レッツ、福井野 PRIDE !

【保護者の皆様へ】

昨日は 3 年生の体育大会にあたり、温かい御理解と御協力をいただき誠にありがとうございました。多くの保護者の方に御来校いただいたことに感謝申し上げます。行事の中で仲間を全力で応援し、誰かの失敗をも温かく包み込んで共に盛り上がる生徒たちの姿に、最高学年としての誇りとたくましい成長を感じた一日となりました。ここでは一場面の紹介にとどまりましたが、多くの感動場面があり、多くの体験をして、子どもたちは経験を重ねています。

これから本格化する進路選択や受験に向けた日々の中で、お子様が壁に突き当たり、思うような結果が出ずに悩む場面も出てくるかと思います。学校では、失敗を糧にして何度でも立ち上がる「しなやかで強い心（打たれ強さ）」を育ててまいります。御家庭におかれましても、結果の良し悪しだけでなく、果敢に挑戦したプロセスそのものを認め、温かく背中を押していただければ幸いです。今後とも変わらぬ御支援をお願い申し上げます。

お知らせ・学校案内・イベント等

北海日野工業高等学園 ものづくり体験説明会、見学会のご案内

詳細はホームページよりご確認ください。

大通高校学校祭（DORI 祭）について

日時：9月19日

参加に当たっては生徒手帳と高校のHPよりダウンロードした参加票が必要となります。しっかりと御確認ください。

北斗高校 学校見学会のお知らせ

日時 第2回 10月17日（土）

第3回 11月28日（土）

詳細はQRコードより



北海道科学大学 学校見学・説明会のお知らせ

日時 第2回 10月10日（土）

第3回 11月14日（土）

詳細はQRコードより



札幌新陽高校 オープンスクールのお知らせ

日時 第2回 9月26日（土）

詳細はQRコードより



札幌日本大学 学校説明会、プレテストのお知らせ

日時 第2回 10月17日（土）

第3回 11月14日（土）

詳細はQRコードより

※第3回の説明会当日、プレテストを受けることができます。奨学関連の特典もあるので、確認してください。



10月12日（月） 公立TOP高（札幌南・札幌北）私立TOPコース（札幌日大PS）
受験生対象「記述問題対策 進学セミナー」

